



KONICA MINOLTA

四季の星座解説

S-501 (08 分 00 秒)

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

四季の星座案内8分版

(室内 暗くなる)

M 綺麗な夏の音楽

0:15

地上の風景が、四季折々の姿があるように、星空の世界も、季節によって、色々な星や星座たちでにぎわいます。さあ、これから皆さんに、星空の四季をちよつと足早ですが、紹介して参りましょう。

0:35

(音楽盛り上がる)

(音楽を約10秒聴く)

0:45

・方位

P ベガ

まず初めは、夏の星空を紹介しましょう。夏、とても目につく星はこれ。

一等星の「ベガ」です。

0:57

この星、実は七夕物語に登場する「織姫星」です。

では、「彦星」というと、こちらの星、一等星の「アルタイル」です。

1:11

・こと座

星座でいうと「織姫星」、「ベガ」は「こと座」の星。

・わし座

そして「彦星」、「アルタイル」はわし座の星にあたります。

1:25

日周18h↓0h
(運動約35秒)

(日周のため音楽盛り上がる)

1:33

さて、星空は夏から秋へと移動し始めました。時計の針を急いで回すと、星たちは西の空へと傾き始めます。そして反対に東の空からは、次の季節の星たちが昇ってきます。

(日周停止 0 hに)

2:08

(夏の音楽終わる)
SE 秋の虫の音

2:18

見上げた星たちは、秋に変わりました。頭の真上には「秋の四辺形」と呼ばれる四つの星が見えています。

・ペガサス座

2:31

星座は「ペガサス座」。羽を持った空飛ぶ馬、天馬ペガサスの胴体に、秋の四辺形は当てはまります。

2:45

・カシオペヤ線
(必ず本機付け)

2:50

他に秋といえば北の空ですが、アルファベットの「W」の形に星が並んだ、「カシオペヤ座」も、高いところに見えています。

3:03

(秋の虫の音 ここまで)

日周 0 h ↓ 6 h
(運動約 40 秒)

3:10

M 星空回転音楽

・カシオペヤ線

さて、また星たちが移動を始めました。秋の星たちは西の空へ移動し、そのうち、地平線へと沈んでゆきます。しかし、「カシオペヤ座」はどうでしょう？
なんだか、北の空を回っているだけですね。

この北極星に近い星たちは、地平線に沈むことなく、いつ

(日周停止6h)

も北の空をぐるぐると回っています。

3:45

(星空回転音楽終わる)

3:46

M きらびやかな冬の音楽

3:56

冬の星空です。

冬は一等星の数が多く、一年の中でも星たちが、とてもきらびやかに見える季節です。

そのなかで、冬を代表する星座は、何と言っても「オリオン座」でしょう。

赤い色をした一等星の「ベテルギウス」

青白い色をしたこの星「リゲル」も一等星。

そんな明るい星と、その周りの星を結ぶと、こんな形になりました。

4:30

「オリオン座」の星たちです。

・オリオン座

棍棒をもち、片方の手にはライオンの毛皮。何とも勇ましい男の姿です。

4:45

オリオンの見つめるその先に、星がごちゃごちゃと集まったところがあります。

これは日本では「すばる」と呼ばれた星たち。

正式な名前は「プレアデス星団」。

5:00

「プレアデス」とは、ギリシャ神話に登場する「プレアデスの七人姉妹」のことです。

実はオリオンはこの姉妹のとりこになり、毎晩、毎晩、姉妹を追いかけて回している、という物語があります。

5:18

時間が経つと、星たちは西の空へと移動します。

ほら、その移動して行く様子を見てみると、まるでプレアデスの星たちがオリオンから逃げるように、または、オリ

日周6h↓12h
(運動約35秒)

(日周停止12h)

オンがプレアデスの星を追いかけるように見えませんか。
昔の人も同じように見えたのでしょうかね。
そして、こんな物語が生まれたのかもしれない。

(冬の音楽終わる)

M 春と共にエンディングにもなる音楽

5:53
6:00
6:10

星空は春へと変わりました。

春は頭の上の方に、大きな熊の星座が横たわります。

「おおぐま座」です。

・おおぐま座

6:23

この「おおぐま座」には、皆さんにとって、なじみの深い星があります。

それは、この星たち。

「北斗七星」です。

・北斗七星線

6:27
6:47

七つの星が柄杓の形に並んでいます。

見方を変えると、フライパンでしょうか。

この北斗七星は世界的にも注目され、馬車だとか、ゆがんだ家と逃げる大工さんとか、七匹の豚など、色々な見方があったようです。

7:02

さて、夏の星座から順に、四季折々の星空を見てきました。
星の世界は一言では語り尽くせない魅力があります。今度は本当の夜空を眺めて、季節ごとの星空の移り変わりを楽しんでみてください。

7:12

7:31

8:00

おわり